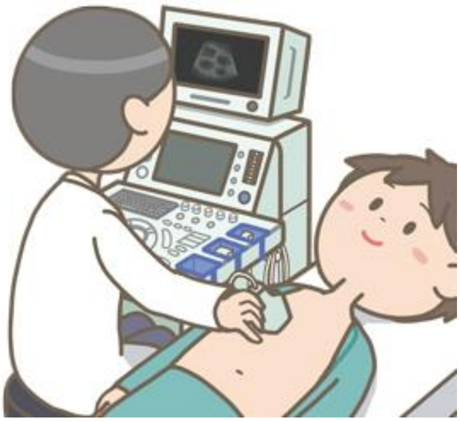
予約検査：P.1～P.4
随時検査：P.5～P.7

生理機能検査を受けられる方へ

予約検査の予約変更、取り消しの連絡は平日 14：00～16：00 に予約センターまでご連絡ください。

078-791-0111（代表）→予約センターへ

予約検査項目	検査概要および注意事項
心エコー検査 検査時間は 15～45 分程度です	超音波の特性を応用し心臓の形態を可視的に計量診断するだけでなく、心機能および血行動態をリアルタイムに分析し評価を行います。心臓内腔域、形態異常の有無、心房・心室の内容物、心室壁の動きや厚さ、弁の形態や逆流の情報が得られます。ゼリーをつけたプローブを左胸部中心にあて観察します。上半身裸になって検査を行います。着脱のしやすい服装でお越しください。食事の制限はありません。
経食道 心エコー検査 検査時間は 30～60 分程度です。	食道にエコー探触子を入れ、心臓の裏側、食道から心臓の状態を観察します。心内、とくに左房内の血栓の検索や、弁膜疾患、胸部大動脈の異常、先天性心疾患の診断、心臓大血管手術の評価として有用です。 エコー探触子を飲み込む際、苦痛が生じる場合があります。絶食時間があります。医師の指示に従ってください。タオルをお持ちください。鎮静薬を使用します。検査後の運転はできませんので、車での来院はおやめいただくか、代わりに運転できる同伴者の付き添いをお願いします。
甲状腺エコー検査 検査時間は 15 分程度です。	超音波を用いて甲状腺の大きさや形態異常、血流情報を取得し、びまん性疾患や腫瘤性病変の有無を評価します。 ゼリーをつけたプローブを首元にあて観察します。首元が大きく開く服装でお越しください。食事の制限はありません。
乳腺エコー検査 検査時間は 15～30 分程度です。	乳房を観察し、腫瘤性病変や低エコー、微細点状高エコー、乳管拡張や構築の乱れなど非腫瘤性病変の有無を検索します。また細胞診や針生検時にエコーをガイドとして使用します。 ゼリーをつけたプローブを胸や腋窩にあて観察します。上半身裸になって検査を行います。着脱のしやすい服装でお越しください。食事の制限はありません。病理検査予定の方で薬の服用制限がある場合は、医師の指示に従ってください。

頸動脈エコー検査 検査時間は 15～30 分程度です。	頸動脈病変、他部位の動脈硬化性疾患治療時のリスク評価、生活習慣病症例での動脈硬化進行度評価に用います。 ゼリーをつけたプローブを首にあて観察します。首元が大きく開く服装でお越しください。食事の制限はありません。
下肢エコー検査 検査時間は 15～60 分程度です。	**下肢静脈エコー検査**：超音波を用いて深部静脈、表在静脈、穿通枝について血栓や逆流の有無を評価します。 主な検査目的には、自覚症状および D ダイマー高値の原因検索や血栓の有無を確認するほか、肺静脈塞栓症の原因の多くが下肢静脈血栓であることから、術中・術後に発症する肺静脈塞栓症に対する予防措置の決定を行う目的で術前スクリーニングがあります。 **下肢動脈エコー検査**：下肢の動脈の狭窄や閉塞の程度を検索します。閉塞性動脈硬化症の治療前評価として血管径やプラーク性状を評価するために用います。形態により動脈瘤や動脈解離などの有無を調べます。 **下肢エコー共通**：下肢を露出するため、着脱のしやすい服装でお越しください。食事の制限はありません。
腹部エコー検査 検査時間は 15～30 分です。 造影検査は前処置を含めて 60 分程度です。	超音波を用いて肝臓、胆嚢、膵臓、脾臓、腎臓といった上腹部臓器を主な対象として観察します。生活習慣病や、癌などの腫瘍性病変、急性腹症の原因検索などに対して評価を行います。造影超音波検査は、造影剤（ソナゾイド）を静脈内に注入し、腫瘍や炎症、血管性病変などをより詳細に評価を行う際に行います。 胴回りが出るように服をまくっていただきます。ゼリーをつけたプローブを腹部にあて観察します。ボディスーツなどの着用はやめてください。絶食時間があります。医師の指示に従ってください。

腹部大動脈エコー検査 検査時間は 30～60 分程度です。	腹部大動脈瘤や大動脈解離などの観察に有用です。ステントグラフト内挿術や人工血管置換術などの大動脈瘤治療後の評価に用います。 絶食時間があります。医師の指示に従ってください。ゼリーをつけたプローブを腹部にあて観察します。胴回りが出るように服をまくっていただきます。ボディスーツなどの腹部が出にくいものの着用はやめてください。
腎動脈エコー検査 検査時間は 30～60 分程度です。	超音波により腎動脈狭窄の有無、腎臓内の血流を評価します。腎動脈狭窄は、腎虚血によるレニン活性を引き起こし、二次性高血圧症の原因となります。また腎動脈狭窄が心不全の原因となることがあります。線維筋性異形成や大動脈解離による腎虚血などの検出にも用いられます。 絶食時間があります。医師の指示に従ってください。ゼリーをつけたプローブを腹部にあて観察します。胴回りが出るように服をまくっていただきます。ボディスーツなどの腹部が出にくいものの着用はやめてください。
脳波検査 検査時間は １時間程度です。	主として大脳皮質の表層に生ずる電気活動を頭皮上の電極によって誘導し、脳波計で記録します。てんかんの診断、脳機能の評価、薬剤の効果、意識障害の評価などに用います。 頭部にペーストという粘土のようなものを付け電極を装着します。洗髪は自宅をおすすめしています。気になるようでしたら帽子をご持参ください。睡眠薬を服用して検査する場合は医師の指示に従ってください。
新生児 **Baby ABR** 検査時間は児の状態に左右され、5～60 分程度です。	新生児専用装置を用いて、35dBnHL のクリック音を耳から聴かせ、脳幹から発せられる聴性脳幹反応を誘導し検出します。聴覚に関係する第Ⅴ波を中心に検出するために誘導部位は前額部と後頚部と肩を使用します。聴覚障害の早期発見さらには早期支援につなげることを目的として行います。 うなじ、肩、おでこにシールタイプの電極を装着し、両耳にイヤホンを付け、クリック音を流して反応をみます。泣き止まない場合や、体の動きが活発な場合は検査を中断する場合があります。自費（市町村によって助成あり）となります。事前に同意書を取得させていただきます。
睡眠時無呼吸検査 **簡易型 PSG** 機器装着説明に 15 分程度かかります。	睡眠時無呼吸・低呼吸症候群を代表とする睡眠呼吸障害のスクリーニング検査として用います。自宅へ持ち帰り可能で、鼻呼吸、いびき音、経皮的酸素飽和度、腹部運動、体位を評価します。 腹部にベルト、鼻にカニューレ、指にサチュレーションモニターをご自身（あるいは家人）で装着し一晩寝ていただきます。起床後ご自身（あるいは家人）ではずしていただきます。翌日返却に必ず来院してください。故意または重過失による破損や紛失があった場合は損害賠償を請求することがあります。

神経伝導速度検査 検査時間は調べる神経の数により 15～90 分です。	神経伝導速度検査は、末梢神経を皮膚上で電気刺激し、誘発された電位を記録し、伝導速度、振幅などを測定することによって末梢神経疾患、脊髄疾患の診断、病態の把握に活用します。運動神経刺激によって筋肉で誘発される波形を検査する運動神経伝導検査 MCV と、感覚神経自体の電位の波形を検査する感覚神経伝導検査 SCV に大別されます。また運動神経伝導で得られる活動電位より遅れて出現する微小な波である F 波を検査することで脱髄病変の評価に用います。 電気刺激をするため、多少の痛みや違和感を伴います。ゆったりとした服装が望ましいです。
24 時間ホルター心電図 機器装着・説明に 15 分程度、翌日取り外しに 5 分程度、 報告は医師の判読も含めて 1 週間程度です。	携帯型心電計を用いて日常生活中の心電図を長時間連続記録し、後日これを再生解析します。24 時間記録することが望ましいです。発作性、間欠的に出現する不整脈の検出、狭心症の診断、心疾患患者の経過観察などが適応となります。 胸部にシール状の電極を貼り、コードを記録器につなげます。装着した状態でご帰宅いただきます。行動記録表をお渡ししますので、検査中の行動記録や症状記載をしていただきます。装着中の入浴・シャワー浴はできません。翌日に装置の取り外しあるいは返却に必ず来院してください。故意または重過失による破損や紛失があった場合は損害賠償を請求することがあります。
自由行動下血圧測定（ABPM） 装着・説明に 10 分程度、 翌日取り外しに 5 分程度です。	片腕の血圧計を装着し、日常生活の 24 時間の血圧の変動を調べます。一般的に昼間は 30 分間隔、夜間は 60 分間隔で自動的に測定します。最初の 1 時間は評価に用いないため、装着は 25 時間となります。 ゆったりした服装（上半身は中に半袖やタンクトップ、上から羽織れる服）がおすすめです。装着中の入浴・シャワー浴はできません。翌日に装置の取り外しあるいは返却に必ず来院してください。故意または重過失による破損や紛失があった場合は損害賠償を請求する場ことがあります。

随時検査項目	検査概要および注意事項
安静心電図検査 検査時間は５分程度です。	心電図検査は心臓の電気的活動を記録したもので、不整脈、心室肥大・心房負荷、心筋障害、電解質異常、薬剤の影響などの診断に有用です。 胸部および手首足首の肌に直接電極を装着し、心臓から発生する微弱な電流を記録します。痛みや副作用はありません。ストッキングやタイツ、ボディスーツなどは避け、着脱の簡単な洋服でお越しください。
OD テスト 検査時間は 15 分程度です。	安静時の心電図を記録後、立位にて同様に 10 分間の心電図をとります。脈拍および T 波の変化を用いて、起立性調節障害の診断に活用します。 胸部および手首足首の肌に直接電極を装着し、心臓から発生する微弱な電流を記録します。ストッキングやタイツ、ボディスーツなどは避け、着脱の簡単な洋服でお越しください。
自律神経機能（CVRR） 検査時間は 15 分程度です。	安静臥床時の 100 心拍の R-R 間隔を計測して変動係数（CV)を求めます。心臓迷走神経活動の呼吸性変動による心周期の変動を反映し、年齢の正常下限値を下回る場合に自律神経障害が疑われます。主に糖尿病の神経傷害の判定に活用します。 手首足首の肌の肌に直接電極を装着し、心臓から発生する微弱な電流を記録します。
マスター負荷心電図検査 検査時間は 15 分程度です。	安静時の心電図を記録後、年齢・性別・体重に応じて負荷量を決定し、マスター台という階段を昇降し、直後、３分、５分後、さらに変化の消失するまで心電図の記録を行います。 胸部および手首足首の肌に直接電極を装着し、心臓から発生する微弱な電流を記録します。ストッキングやタイツ、ボディスーツなどは避け、着脱の簡単な洋服でお越しください。足腰に痛みのある方、階段昇降に不安のある方は検査前にご相談ください。

呼吸機能検査（VC、FVC、FRC、DLco、CV） スクリーニング検査は 10 分程度、精密検査は 30 分程度です。	肺の大きさや気道の状態、肺のガス交換機能を調べます。鼻をノーズクリップで挟み、口で息を吸ったり吐いたりしながら検査をします。 検査担当者の指示に従って呼吸をします。最大努力が得られないと正しい評価ができません。息苦しくしんどい検査になりますが、患者様のご協力が必要な検査です。スクリーニング検査は 10 分程度、精密検査（FRC、DLco、CV）は 30 分程度です。
呼気 FeNO 検査時間は 5～10 分程度です。	FeNO は喘息患者において、下気道の好酸球性気道炎症の程度とよく相関し、好酸球性気道炎症を間接的に評価する指標である。 検査担当者の指示に従って 10 秒間（あるいは 6 秒間）一定の呼気速度を維持していただきます。
血圧脈波検査（ABI/CAVI） 検査時間は 5～10 分程度です。	上下肢の血圧比（ABI）、大動脈を含む心臓から足首までの動脈の硬さ（CAVI）を測定し、大動脈や手足の動脈など比較的太い動脈の高度狭窄の有無、比較的太い動脈の壁の硬さを評価します。 二の腕、足首に血圧のカフを巻きます。両手首に心電図の電極、胸部に心音マイクをつけます。ゆったりとした服装が望ましいです。締め付けの強いものは脱いでいただくことがあります。

標準純音聴力検査 検査時間は 20 分程度です。 **標準語音聴力検査** 検査時間は純音聴力検査と合わせて 45～60 分程度です。	耳鼻科診察室内で行います。125Hz から 8000Hz の 7 種類の純音を用いて閾値を測定します。気導閾値と骨導閾値を測定することにより、難聴の程度、種類の判定に有用です。 イヤホンをつけ、音を流します。音が聞こえたら、ボタンで応答してください。 耳鼻語音を用いて聞き取り、聞き分けを検査します。社会生活における適応度や補聴器装用に必要です。 イヤホンから「あ」や「う」など語音を流します。聞こえた音を口に出してお応えいただきます。